



vol.3
2012.1.14発行

みんな元気に輝いて生きる

発行:名張育成園MIRAIプロジェクト 社会福祉法人 名張育成会 〒518-0615 三重県名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者:市川知恵子(社会福祉法人名張育成会) 編集責任者:池上祥二(社会福祉法人名張育成会) 編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ) 編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ) 題字・イラスト:千秋育子

Information

アーティスト大募集!!
障がいのある方が、プロアーティストとして創作活動できるアート工房がこの3月、名張市百合が丘にオープンします。
そこで今回、アート工房で活動したいと意欲をお持ちの障がい者を大募集!!
選考によってアーティストを決定いたします。
応募資格や選考基準など、詳しくは下記にお問い合わせくださいか、ホームページをご覗ください。
連絡先: 0595-65-0271
担当: 原田(はらだ)、貞安(さだやす)



中野 浩さん(51)

障がい者雇用に積極的に取り組む名張市のブリヂストンケミテック株式会社。6年前には『NHK障害福祉賞』の『優秀賞』にも輝いた地域に根差した会社です。今回は職場のムードメーカーとして仲間から愛される中野浩さんを紹介します。

中野さんは1998年の入社以来、勤続13年間というベテラン。自動車の安全部品の生産ラインで側突パッドの必要な部分をはぎとる「ぱり取り」や穴開けに従事。一定の速度で流れてくるパッドを手際よく手作業ではぎとっています。

一番神経を使うのは「直角に(棒を)入れやんと、失敗してしまうんや」と話す、穴開けの作業。体が覚えている作業でも、この時は特に注意を払うそうです。

職場の仲間からは「トレードマークは笑顔」「ユニークで職場を明るくしてくれる」「彼がいたから今の職場も他の部署から注目されるようになった」など、評判も上々。

そんな中野さんですが、入社当時は誰かに助けてもらわないと仕事が出来なかったり、休みがちでもあったとか。今日あるのは、やっぱり仲間の支えが大きかったからだといいます。

昨年の3月1日には『ブリヂストングループアワーズ2011』で、ブリヂストンケミテック(株)が21年間障がい者雇用に



昨年3月に受賞した『ブリヂストングループアワーズ2011 社会貢献賞』の受賞盾。世界中のブリヂストングループで最高の栄誉です



取り組んできた貢献に対し『社会貢献賞』を受賞。世界にあるブリヂストングループの中では最高の栄誉で、東京で行われた授賞式に職場の代表として出席した中野さん。パーティー会場では、ブリヂストンの社長と乾杯したという強心臓(?)の持ち主で、すっかり有名人に。

現在、中野さんは市内のホームでシェアリング生活を送っています。仕事のある平日は、毎朝6時33分に起床し、名張駅から会社の送迎バスで出勤。午前8時から夕方4時20分まで仕事に従事。「食べ過ぎに注意してるんや」と健康管理にも気を使っています。

休日はテレビ鑑賞やのんびりすることが多いそう。また演歌が好きで、中でも五木ひろしや氷川きよしの大ファン。母親を誘い、秋には名古屋まで北島三郎の公演を見に行き、正月には大阪の新歌舞伎座へ「暴れん坊将軍」の観劇に出掛けるなど、親孝行も欠かしません。

「お金も上手に使うし、楽しく生活している」と職場でも評判です。これからもその明るい笑顔で職場を盛り立ててくれるでしょう。



「オレンジヴォイス」は名張市障害者地域活動支援センター「ひびき」の利用者が、希望を持って前向きに生きていこうと2007年に結成された男女混成のコーラスグループです。



メンバー自身が、自分の経験や思い、また願いを込めた詩に、名張市内でピアノ教室を開く、乾裕香先生が曲をつけたオリジナル曲十数曲を中心に活動しています。

さて、ピアノも楽器もない部屋でみなさんに好きな歌を訊ねたとき、誰かがその曲を口ずさむと、とたんに元気な声が部屋いっぱいに広がります。

それは、単に歌を伝えたいというだけじゃない、まるでゴスペルを聴いているような、力強いメッセージとして心に響きました。

…人の優しさ 何気ない優しさ
メッセージが ぎゅっと詰まった歌
その優しさに触れ 詩を書く事も
楽しさに変わっていく
人の優しさ メッセージに込め
歌として伝えていこう…

「優しさ」より

自分が苦しんでいる時、職員の方に
優しくされた事がうれしくて、感謝を
込めて書いた詩だそうです。

オリジナル曲は、このような優しさ
や元気がでる歌がイッパイ。



またコンサート情報をブログでもお伝えしていきますので、皆さんも機会があれば是非一度聴きに来て下さい。

Work

生活支援員・内田安俊さん (レインボークラブ)

レインボークラブで生活支援員として活動されている内田安俊さんは、入社3年目の若手。はつらつとした笑顔が爽やかな内田さんにお仕事の話を聞きました。

——福祉関係の仕事に就いたきっかけを教えてください

「4年前になりますが、大学を卒業してアルバイトをしていた時、精神保健福祉士の養成講座を受講しました。大学で心理学を専攻していたということもあり、興味を持ったんです。その時はまだ、自分の職業にとは考えていましたが、受講中に実習で訪れた施設で

利用者の人たちと一緒に運動するなど触れ合っているうちに、職業としての福祉を意識し始めました。研修体制が充実して、ステップアップが期待できると育成会さんへの就職を希望しました」

——仕事の内容は?

「主に利用者を就労に結び付ける支援をしています。細かい所では、利用者と一緒に作業しながら、マナーや言葉遣いの改善指導などもしています」

——仕事での苦労はありますか?

「苦労というか、入社当時は何をするにも段取りが悪く、よく上司に怒られて



いました。ただ、今の私があるのはその時の指導のおかげだと思っています」

——感激したことはありますか?

「入社間もない時、午後から帰らなければならぬ事情があったんですが、それを知った利用者の方が早々に作業を終えてくれ『内田さんのために頑張ったんや』と言ってくれた時は涙が出そうになりました。最近では上手に関係を築けているのか不安だった利用者の方が就労された時、感謝の手紙を頂きました。それがすごく嬉しかったですね」

——今後の夢や抱負は?

「地域の人たちと一緒にになって、利用者と何かイベントを企画したいです。プライベートではスキューバダイビングを始めたので、沖縄に行きたいです」

ご両親にお聞きしました。

——息子さんがこの道に進んだ当初、どのように感じられましたか?

「障害のある人のために力添えする仕事は、普通ではなかなか出来ない選択であり、よく決心したと思いました」

——今はどうですか?

「現実を見つめ、日々スキルを磨いてほしいし、障害者のためにより望ましい法制度について自分の意見として練り上げてほしいです」



☆レインボークラブ

ホームページ: [名張育成園レインボークラブ](#) 検索
連絡先 TEL 0595-67-4188

●就労移行支援事業

企業への就労を希望される方に対し、必要な知識・技術等を習得してもらうための支援や、関連企業と連携して、実習・求職活動から就労後の定着までの支援を一貫して行います。

●就労継続支援事業B型

一般企業への就労が難しい方、離職された方、仕事をすることで社会的自立を目指したい方へ、働く場所を提供すると共に、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

☆生活支援員とは…

「一人ひとり悩みを聞き、課題解決にむけて計画をつくり実行する」
福祉に関する悩みを持った高齢者や障害のある方、病気がある方、子どもやその家族などの相談のって、相談者と一緒に考えたり、アドバイスをしたりする仕事です。利用者や家族との相談を通して、施設への入退所の手続きや、施設内でのサービス利用についての相談も受けます。

Art & Eye

第3回目は、ArtとEyeのコラボ企画。私たちの日常空間を彩り、心豊かに、又時には静かな気持ちにさせてくれるアート。そんなアートと私たちの関係を高校生の目線で捉えていただこうというフォトメッセージです。

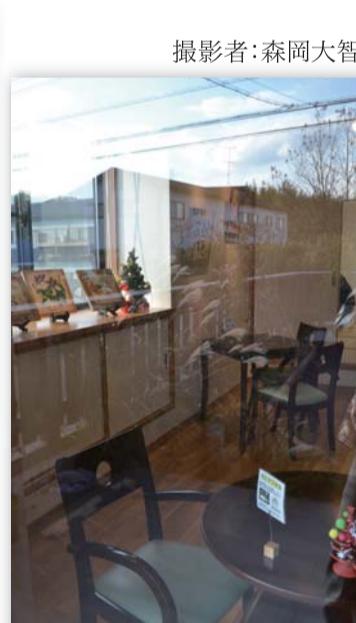
今回は、CAFÉ & GALLERYほっぷ店内にひろがるアートを、「くつろぐ空間」として県立名張西高校写真同好会の皆さんに撮影してもらいました。

また、今後掲載できなかった写真をブログに投稿していくので、ご覧いただければうれしいです。

YOUブログ: [YOUブログMIRAI](#) 検索



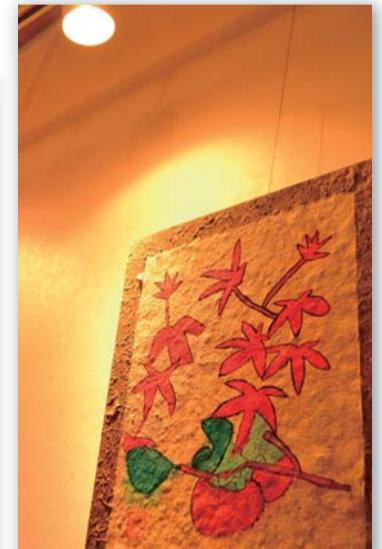
撮影者: 谷口由佳



撮影者: 森岡大智



撮影者: 楠見萌



撮影者: 楠見萌

今回の画や書は、ほっぷでご覧いただけます。



ほっぷ
CAFE&GALLERY

OPEN 10:00
CLOSE 17:00
定休日 土・日・祝
ただし毎月、最終土曜は営業!!
TEL 0595-66-5513
名張市新田字出山1225-1

